

7月

国家試験対策ニューズレター

受験応援号

発行：日本福祉大学社会福祉学部

**土日の休みが消え、夏休みが消え冬休みが消え、
友達が遊んでる時に練習してた。だから今がある**（ダルビッシュ有投手）

目次

激励メッセージ	1
先輩たちの合格体験記	2
国家試験ワンポイントアドバイス	5
「社会理論と社会システム」「社会調査の基礎」末盛 慶	5
「高齢者に対する支援と介護保険制度」伊藤 美智予	7
「相談援助の基盤と専門職」増井 香名子	8
国家試験に関連する主なスケジュール	9

（編集担当：両角達平）

激励メッセージ

両角 達平

来年の2月に控えた国家試験は、将来の社会福祉士としての道を切り開くために重要な一歩です。夏休みが始まり、貴重な時間が与えられました。この期間を有効に活用し、効果的な受験対策を進めることをお勧めします。まずは、国試対策計画の練り直しを行いましょう。夏期以降のスケジュールをPDCAサイクルで計画し、具体的な目標を立ててください。計画を立てる際には、過去の結果を振り返り、弱点や改善すべき点を明確に把握しましょう。

また、実戦講座は効果的な学習機会です。インプットを重視して受講し、受講前に理解が難しい箇所を整理しておくことが大切です。受講中はノートを取り、知識を整理しながら今後の対策に役立つ覚え方や正答を導くための考え方、注意点などを書き出しましょう。受講後は、模擬試験前に復習と知識の補填を行いましょう。

赤マル福祉も有効に活用しましょう。問題の実施度を100%にするだけでなく、習熟度も100%にすることを目指しましょう。問題については、3度目以上の挑戦でテストモードで正解することや、すべての問題に金の羽根をつけることを目標にしましょう。

また、12号館3階の自習室を活用することで集中して学習に取り組む環境を整えることができます。自習室の静かな空間で、効果的な学習時間を確保しましょう。

最後に、ニューズレターも活用して情報収集を行いましょう。最新の試験情報や傾向、対策などを把握することで、戦略的な学習が可能になります。夏休み中の受験対策は、国試対策の基礎力を高める最初で最後のステップです。気を緩めず対策をしていきましょう。

先輩たちの合格体験記

多忙な4年生が国試を突破する5つの方法

子ども専修 2022年卒業 仮屋太洋

小牧市教育委員会 スクール・ソーシャルワーカー

私は2022年社会福祉士国家試験を突破し、小牧市でスクールソーシャルワーカーとして働いています。1年前模試で4割の得点率だった私も本番は122点で合格しました。今回は、そんな私の国家試験の対策のための勉強方法の一部を紹介します。



1. 過去問を解く

まずは、過去問を勉強することです。過去問を解くことで出題傾向を理解することができますし、何のどこを勉強すべきなのかがわかるようになります。また、過去問を解くことで5択中の1個~2個は削れるようになりますし、無意識に問題に慣れていくことができます。そして、過去問を解くことで自分に合った勉強方法を見つけることもできます。

2. 赤マル福祉で寝落ち

赤マル福祉を解く際に意識することは、頭の中で回答に至るまでのプロセスを唱えながら選択肢を選ぶことです。選択肢をすべて削って正答を導き出してください。これは、説明できなくても頭の中で理解できていれば問題ありません。そして、何度も繰り返し練習します。私自身は、一番出現頻度の高い問題で13回も繰り返しました。この方法で、選択問題と〇×問題の両方で金のフクロウを達成しました。赤マル福祉は、やりながら寝落ちするくらいに活用していました。

ある程度赤マル福祉をやり込むと基礎的な知識が定着してきます。そのぐちゃぐちゃに頭の中に入った知識を吐き出す様にしてアウトプットしながらノートにまとめることがおすすめです。

3. 部屋をノートにする

また、部屋をノートにする方法もおすすめです。A4用紙に間違えた問題を要約して書き出し、それを壁やベッドの側面に貼ります。目に入った時には頭の中で問題を解き、間違えた場合は自分の覚えやすい形式で書き直します。問題文と答えをセットで覚えるイメージで何度も繰り返し行います。慣れてくると、要点を箇条書きにまとめることもできます。ただし、正答したとしても、記憶が長期的に定着す



るまで繰り返し続ける必要があります。最終的には、「部屋のどこにある内容か」という連想で問題を解けるようになります。

4. 実戦講座の活用方法

夏季の実戦講座では、模試と組み合わせて受講することで、全体の出題頻度や傾向を把握することができます。また、動画配信は繰り返し再生して視聴しました。

冬季講座では、落としてはいけないポイントや重要なテーマが解説されます。対策講座では、「今年は〇〇が難しくなる」といった予測が提供されることがあります。これについては聞いても良いですが、鵜呑みにせず自分自身で判断することが重要です。

5. 模試の振り返り

模試の振り返りも必ず行っていました。間違えた問題や偶然正解した問題について見直しを行い、正答率 50%以上の問題に重点を置きました。ただし、振り返りには時間がかかり、初めて効果を実感するまでには時間がかかりました。模試が終わった後は、理想的には1週間以内に振り返りを行うことを目標としていました。しかし、現実的には1ヶ月くらい時間がかかることもありました。また、1月になった際には、これまでの模試をもう一度解いてみることで、過去の記憶を思い出すことができました。

おわりに

他の参加者や環境が学習のペースを焦らせることもあるかもしれませんが、あくまでも自分自身のペースで学習を進めることが大切です。他者の影響を利用しながらも、自分の学習ペースを確保すると良いでしょう。

勉強を続けるためには、自分自身を信じる覚悟が必要です。困難や挫折があっても、自分の力を信じて前進しましょう。また、「仕方がない」と思う瞬間があるかもしれませんが、本当に「仕方がない」のか再考してみてください。時には新たな解決策やアプローチを見つけることもできます。

最後になりますが、卒業生として皆さんをこころより応援しています。困難な道のりかもしれませんが、頑張ってください！

社会福祉学部 web ページで情報発信中

社会福祉学部の web ページでニュースレターをご覧ください。中段の「正課科目で国家試験合格をサポート」の項目に掲載しています。

お手持ちのスマートフォンで上の QR コードを読み取ってください。今後もニュースレターで合格に向けた情報を発信するので是非ご覧ください！

【社会福祉学部 web ページ QR コード】



国家試験ワンポイントアドバイス

「社会理論と社会システム」と「社会調査の基礎」のこの分野が出る！

末盛 慶

とあるところのとある風景・・・AとBの会話

A「先生、社士の勉強がなかなか進みません！」

B「大変だよな。就活や卒論もあるしさ。けど社士は4年間の学びの集大成の1つだし。今後の生活で役に立つこともある。何よりきみたちが社会福祉について学んでいることそれ自体が素晴らしいことで、社会の幸せにつながっていくんだよね」

A「で、「社会理論と社会システム」と「社会調査の基礎」取り組み始めたんですけど、さっぱりわかりません！」

B「そうだよな。「社会理論と社会システム」はゲメインシャフトとかマクドナルド化とかカタカナ用語多いし。「社会調査の基礎」は縦断調査、ダブルバーレル、KJ法とか日常で使わない用語も多いよね」

A「じゃ先生。試験に出るところを教えてください！」

B「そだよな。頻出分野をおさえることが社士対策では何より大切なんだ。だいたいこんなところが出るんだよね。まず「社会理論と社会システム」から行っか？」



社会理論と社会システムは学習範囲がやや広めの科目になりますが、実際出題される分野は絞れる面があります。大きく以下の7つの分野がよく出題されます。①社会集団（ゲメインシャフト、ゲゼルシャフト、第一次集団、第二次集団、官僚制など）、②地域（コミュニティ、アーバニズム、ソーシャルキャピタル、限界集落等）、③家族・世帯（直系家族、夫婦家族、単独世帯等）④行為・役割（ヴェーバー、パーソンズ、ハバースらの行為論、ゴフマンらの役割論）、⑤社会問題（貧困、ジェンダー、労働問題等）、⑥社会変動（マルクス、ヴェーバー、ギデンズらの社会変動論）、⑦社会的ジレンマ（共有地の悲劇等）。上記の分野やキーワードに関する過去問を解いたり、テキストを読んだりすると良いと思います。

社会調査の基礎は、①社会調査の倫理（個人情報保護等）、②調査デザイン（横断調査、縦断調査等）、③抽出方法（無作為抽出法、有意抽出法等）、④質問紙の作り方（ダブルバーレル、キャリアオーバー効果等）、⑤量的データの分析法（平均値、中央値、標準偏差、クロス集計、相関分析等）、⑥質的方法の調査法（観察法、インタビュー法、ドキュメント法等）、⑦質的データの分析法（KJ法、グラウンデッドセオリーア

プローチ等)。上記の項目の過去問に取り組んだり、テキストを読んだりするところから始めてみましょう。地道に進めていくと、徐々にここが出題されるのかということがつかめてくると思います。

勉強の進め方ですが、個人で進めてもいいですし、グループで進めていくのも1つです。友達に「ちょっと一緒にやってみない？」と声をかけてみましょう。友達と曜日と時間を決めて、図書館やコミセンとかで勉強してみるといいかなと思います。

【最後におまけ♪】お勧めのミュージック紹介です。自分なら「cheers」「私は最強」(ミセス)、overdose(ナトリ)、eveの曲あたりを聞きながらやろうかなと思います。みなさんお気に入りの環境で、仲間と一緒に、コツコツと楽しく勉強を進めていきましょう♪

国家試験ワンポイントアドバイス
— 「高齢者に対する支援と介護保険制度」 —

伊藤 美智予

「高齢者に対する支援と介護保険制度」は 10 問出題され、うち 2 問程度が事例問題です。頻出分野としては、大きく次の 6 つがあります。1) 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、2) 介護保険制度の概要、3) 高齢者福祉制度の発展過程、4) 介護過程、5) 老人福祉法など関連法、6) 地域包括支援センターの役割と実際。

以下、学習のポイントについてです。

1) 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢

ほぼ毎年出題されます。「高齢社会白書」(内閣府) からよく出題されています。高齢者の健康状態、社会・経済的状況、世帯などについて、最新の統計データを確認しましょう(インターネットで入手可能)。

2) 介護保険制度の概要

毎年出題されます。本科目の中でも出題問題数が最も多い分野です。介護保険制度の概要、介護保険法における国・都道府県・市町村の役割、指定サービス事業者や専門職の役割などについて学習しましょう

3) 高齢者福祉制度の発展過程

毎年出題されます。範囲が広いので、まずは制度の発展過程の大きなトレンドを理解することをおすすめします。当時の社会的状況に関連づけると理解しやすくなります。

4) 介護過程

毎年出題されます。介護の理念や介護の方法などについて学習しましょう。

5) 老人福祉法など関連法

ほぼ毎年出題されます。老人福祉法の理念、福祉の措置など学習しましょう。

6) 地域包括支援センターの役割と実際

地域包括ケア、地域包括支援センター、地域支援事業など関連づけて学習しましょう。

本科目は、比較的取りかかりやすい科目かもしれませんが、というのも、みなさんは 1 年次に高齢者福祉論 I を履修し、そして 4 年次の今まさに高齢者福祉論 II を履修しているからです。1 年次に学習した内容について忘れてしまったことが多いかもしれませんが、焦る必要はありません。現在開講している高齢者福祉論 II の授業をうまく活用し、授業のなかで知識の定着を図ってほしいと思います。

みなさんのご健闘をお祈りしています。

国家試験ワンポイントアドバイス

—「相談援助の基盤と専門職」—

増井香名子

「相談援助の基盤と専門職」は、一定の暗記が必要ですが、一度マスターすると点が取りやすい科目です。これからの勉強でグッと点数が伸びますよ。あきらめないで夏までに集中して取り組みましょう。

1. この科目のポイント

①知識を問う問題

これまでの、3大出題問題です。

- | |
|------------------------|
| 1) 社会福祉士の資格 |
| 2) ソーシャルワーク専門職のグローバル定義 |
| 3) ソーシャルワークの形成過程（歴史） |

これらは、基本的なことを理解し、暗記すること、過去問を解くことが重要です。

1) 社会福祉士の国家資格については、定義や義務について押されましょう。2) ソーシャルワーク専門職のグローバル定義は、これまで、同じような問題が出題されています。全文を覚えるとともに、意味することも理解することが重要です。3) ソーシャルワークの形成過程（歴史）は、イギリス・アメリカにおいてソーシャルワークが確立してきた流れを理解しておきましょう。そして、セツルメント運動・慈善組織協・ミルフォード会議などは過去問で何度も出ています。また、リッチモンドやフレックスナーなど人物も出ています。いまのうちにきっちり覚え、確実に点につなげましょう。

②事例問題

事例問題も出題されます。事例問題は過去問を解いて、問題に馴染んでおくことが必要です。また、解答数に注意が必要です。令和3年度・4年度の事例問題をみでみる

と以下の設問で出題されています。

「最も適切なものを1つ選びなさい。」

「適切なものを2つ選びなさい。」

問題をよく読むこと、マークシートのチェック数に誤りがないか見直しをしよう！

2. 基本:意味も含めて理解しましょう。

【社会福祉士の資格】

- | |
|---------------|
| ○名称独占の資格であること |
| ○社会福祉士の義務等 |
| ・誠実義務 |
| ・信用失墜行為の禁止 |
| ・秘密保持義務 |
| ・連携 |
| ・資質向上の責務 |

【ソーシャルワーク専門職のグローバル定義】覚えていますか。下線部重要です。

ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。

ソーシャルワークの理論、社会科学、人文学、および地域・民族固有の知を基盤として、ソーシャルワークは、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける。この定義は、各国および世界の各地域で展開してもよい。

国家試験に関連する主なスケジュール

昨年度のスケジュールを参考に、今年度前期の予定を紹介しておきます。

(変更になる可能性もありますので、社会福祉特別講座Ⅱでのお知らせや掲示などを随時確認してください)

4月	ニュースレター 社会福祉特別講座Ⅱでの力試し(第2回実力テスト)
5月	実践プログラムの案内・受講申し込み開始
6月	ニュースレター
7月	ニュースレター 国試出願オリエンテーション 社会福祉特別講座Ⅱの期末テスト
8月～9月	実践プログラム(前半)への参加
10月～12月	実践プログラム(後半)への参加

有料ですが大変お得です！
合格したい人はぜひ受講

合格を目指して、

みんなで頑張りよう！